

# 2019年度女性・高齢者等新規就業支援事業に関する 実施状況・意向等調査結果

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局  
2019年8月

# 2019年度 実施府県の取組状況について

## Q1.官民連携プラットフォームの状況について

### (1)参画メンバーの状況 【n=20】

労働局 ハローワーク	経済産業局	(独) 高齢・障害・求職者 雇用支援機構	市町村	大学等	経済団体	資格者団体 (社会保険労務士会、 中小企業診断士協会)	公益法人・ NPO法人等	民間事業者
20団体	2団体	9団体	16団体	5団体	18団体	3団体	14団体	10団体

※経済団体の例：商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会、経済同友会、経営者協会

※公益法人・NPO法人等の例：シルバー人材センター連合会、(公財)産業雇用安定センター、子育て支援のNPO法人、(一財)老人クラブ連合会

※民間事業者の例：金融機関、人材会社、人材派遣

※その他：社会福祉協議会、障害者就業・生活支援センター、日本労働組合総連合会、医療機関 等

### (2)プラットフォーム会議の開催例

	開催実績
<b>A県</b>	<p>【a地域】 5/15 今後の全体スケジュール・役割分担の確認 6/6・7/10 取組周知のためのカタログ発行、イベント開催に向けて進捗状況の共有等</p> <p>【b地域】 6/6 雇用担当者打合せにおいて取組周知のためのカタログ発行、イベント開催に向けてのスケジュール・役割分担の確認</p> <p>【c地域】 5/27 イベント開催に向けてのスケジュール・役割分担の確認 7/16 イベントの進捗状況の共有</p>
<b>B県</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4/10 企業訪問から企業と女性未就業者のマッチングに至るまでの流れについて、労働局（HWマザーズコーナー）とプラットフォームの役割分担・連携方法を確認</li> <li>・4/10 民間団体委託部分の事業内容やネットワークの活用方法、女性未就業者の現状等について意見交換</li> <li>・6/4 労働局（HWマザーズコーナー）とプラットフォームの連携について、情報共有の方法や相談の頻度等を具体的に決定</li> <li>・6/4・7/3 プラットフォームの各機関から、1カ月間の活動実績報告、情報共有、意見交換</li> </ul>
<b>C県</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3/19 全体会議において人材確保を巡る現状及び今年度事業の進め方を検討</li> <li>・4/11・5/28・7/3 ワーキングチームにおいて大規模合同企業説明会をはじめ各マッチングの開催企画の検討</li> </ul>

## Q2.取組の実施状況について

### (1)主な支援対象者について

女性・中高年齢者	女性のみ	中高年齢者のみ	女性・高齢者・障害者	女性・中高年齢者・若年者
11団体	3団体	3団体	2団体	1団体

### (2)各取組の実施状況について

	取組開始の状況	各取組の実施主体について	
		直営か委託か	委託の場合の民間企業の業種について
①掘り起こし (n=20団体)	有：18団体 無：2団体	直営：2団体 委託：17団体 (未定：1団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材会社：7団体</li> <li>○人材派遣：3団体</li> <li>○職業紹介：2団体</li> </ul> その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>○シルバー人材センター</li> <li>○キャリアスクール</li> <li>○（公財）労働協会</li> <li>○テレビ会社</li> <li>○NPO法人</li> </ul>
②職場環境改善支援 (n=19団体)	有：15団体 無：4団体	直営：2団体 委託：18団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材会社：7団体</li> <li>○人材派遣：3団体</li> <li>○社会保険労務士：2団体</li> </ul> その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>○経済団体</li> <li>○シルバー人材センター</li> <li>○職業紹介</li> <li>○キャリアスクール</li> <li>○印刷・広告会社</li> <li>○広告代理店</li> <li>○NPO法人</li> <li>○任意団体</li> </ul>
③マッチング支援 (n=19団体)	有：17団体 無：2団体	直営：2団体 委託：17団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材会社：7団体</li> <li>○人材派遣：3団体</li> <li>○職業紹介：2団体</li> <li>○シルバー人材センター：2団体</li> </ul> その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>○経済団体</li> <li>○キャリアスクール</li> <li>○（公財）労働協会</li> <li>○NPO法人</li> <li>○任意団体</li> </ul>
④訓練・研修 (n=10団体)	有：10団体 無：0団体	直営：0団体 委託：10団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材会社：3団体</li> <li>○人材派遣：1団体</li> </ul> その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリアスクール</li> <li>○コンサルティング会社</li> <li>○（公財）労働協会</li> <li>○NPO法人</li> </ul>
⑤伴走支援 (n=10団体)	有：9団体 無：1団体	直営：1団体 委託：9団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材会社：4団体</li> <li>○人材派遣：2団体</li> </ul> その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリアスクール</li> <li>○職業紹介</li> <li>○コンサルティング会社</li> <li>○（公財）労働協会</li> <li>○NPO法人</li> </ul>

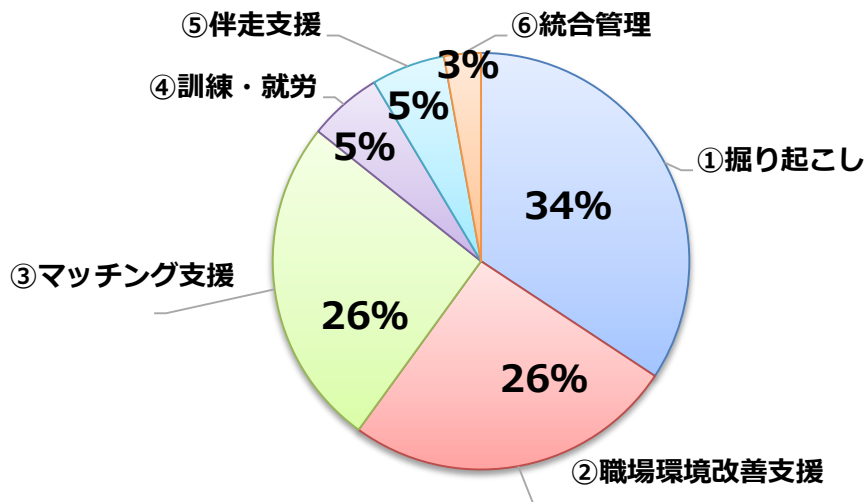
※既存事業で対応している場合は団体数に含めていない。

### (3)事業実施にあたって課題と感ずる具体的な事項について

分類	課題と感ずる事項
掘り起こし	・未就業者のニーズの把握方法や、ニーズ把握のための未就業者への効果的なアプローチの手法。
	・就業希望はあるが積極的な求職活動を行っていない層など支援対象者への情報発信やイベントに参加してもらうための方法。
	・女性や高齢者等の就労に向けた意識の醸成。
	・イベントを通じて就労意欲を喚起し、仕事の紹介を行うこととしているが、その場ですぐに意識変容が起こらないケースや、意欲が湧いたとしてもその場では求人への応募に至らないケースもあるため、イベント終了後に継続的にアプローチする方法が課題。
職場環境改善支援	・高齢者等が担える仕事の切り出し。
	・企業向け支援コーナーについて企業の利用に向けた事業内容の周知方法。
	・柔軟な働き方には賛同するものの、労務管理が煩雑となること等から受け入れに消極的な企業の意識変容。
マッチング支援	・求職者からマイナスのイメージを持たれている業種について、イメージを是正し就労につなげること。
	・これまで求職活動をしていなかった潜在人材の希望する勤務条件と、企業の求人条件がなかなか合わないこと。
その他	・プラットフォーム構成メンバーとの連携方法や、関係機関を通じた新規就業に係る各種情報の周知の方法。
	・「子どもが成長してから就職したい」という考えの方もいることから、事業実施後すぐに就職に結びつかないケースもあるため、KPIの達成が課題。
	・プラットフォームを通じて就職した人数の把握方法。
	・各就労支援機関との効果的な事業連携の方法。

## Q2.全国会議で特に情報収集したいと考える事項について

○実施府県や民間事業者等のどの取組を聞きたいか 【最大3つまで選択：n=35】

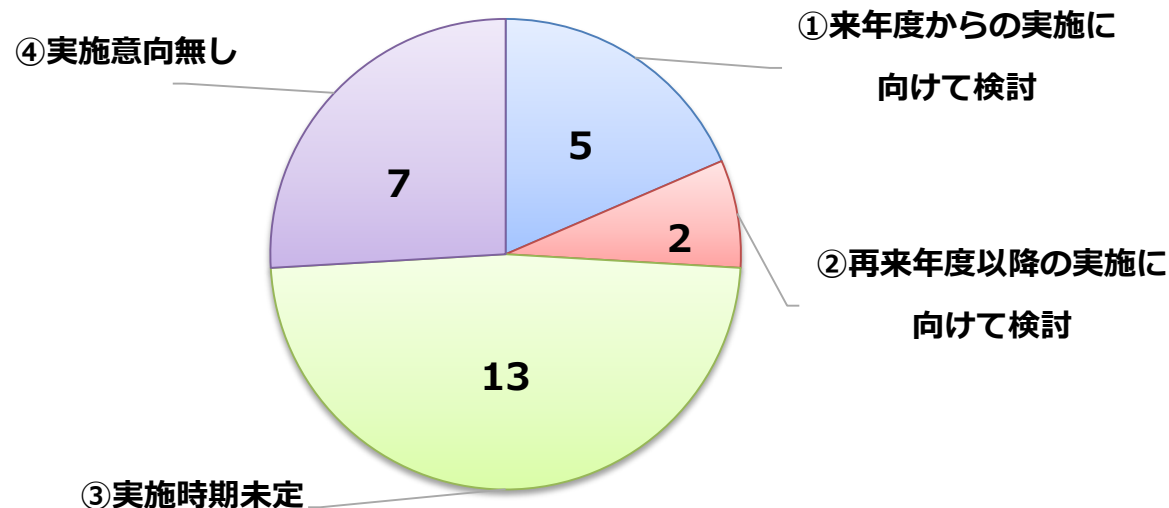


選択肢	選択理由の例
①掘り起こし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な就職活動を行っていない女性等に対する効果的な事業の周知方法が課題であるため。</li> <li>・単発イベントの参加者に対し、イベント実施後も継続的にアプローチできる方法を知りたい。</li> <li>・潜在的な層がどのようなマインドを持っているのかを知りたい。</li> </ul>
②職場環境改善支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の企業に対する職場環境改善に向けた意識の醸成が課題であるため。</li> <li>・勤務時間・曜日等の制約を抱える女性の就業機会を確保するための、企業の柔軟な求人条件の採用をどのように進めるかが課題であるため。</li> </ul>
③マッチング支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の職場環境改善支援から実際の人材確保に結びつけるための効果的な手法を知りたい。</li> <li>・利用可能な他事業や制度は数多くあるが、それらの情報収集・管理に苦労しているため。</li> <li>・市町村と連携し地域の中小企業等との小規模な合同説明会を開催しているが、市町村によって温度差があり、多くの市町村を巻き込むことが課題であるため。</li> </ul>
⑤伴走支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労後の定着状況の把握方法・支援方法が課題であるため。</li> </ul>
⑥統合管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携しながら新規就業に係る各種情報をどのように周知するかが課題であるため。</li> </ul>

# 2019年度 未実施都道府県の意向状況について

## Q1.実施にむけた検討状況について

### ○検討状況 【n=27】



#### ④の場合の理由の例（どのような条件が揃えば実施可能かも含む）

既存事業で対応できているため、実施しない。

過去に高齢者向けの類似の事業を実施したが、高齢者は過去の職歴を活かしたい方が多く、一方企業は高齢者のニーズがあまりなく、ニーズがあったとしてもしっかりと技術を持った方がほしい等、高齢者と企業の間でミスマッチが生じ、十分な就職件数に結びつけることができなかった。

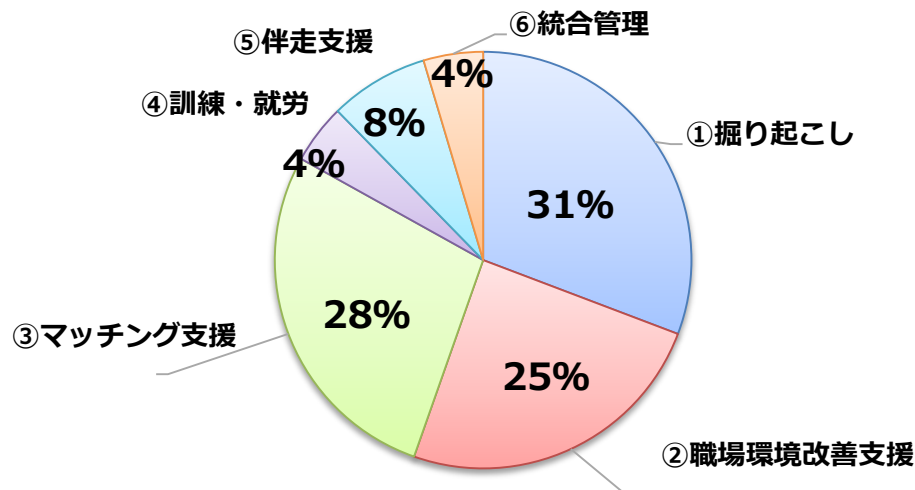
女性の新規就業支援については地域女性活躍推進交付金を活用して実施していることから、地方創生推進交付金の申請をしていないもの。今後、地域女性活躍推進交付金の動向をみながら、地方創生推進交付金の活用を検討したい。

中小企業への支援について、アドバイザー派遣などをすでに他の部署が実施しているため。



## Q2.全国会議で特に情報収集したいと考える事項について

○実施府県や民間事業者等のどの取組を聞きたいか 【最大3つまで選択：n=65】



選択肢	選択理由の例
①掘り起こし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な求職者を対象に、様々な手段を用いて掘り起こしを図っているものの、十分な効果を得られていないものがあり、対象層に応じた効果的な掘り起こしの手法を知りたい。</li> <li>・女性・高齢者等に限らず、対象者把握に苦慮している。</li> <li>・就業を希望しながら活動していない無業の女性にまずは効果的なアプローチの手法が必要であるため。</li> </ul>
②職場環境改善支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業を支援するにあたっては県にはない専門性や技能等が必要と考えられ、それが業務の切り出しには不可欠と考えられるため。</li> </ul>
③マッチング支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足の状況で就職面接会に求職者を多く参加させる工夫・広報、就職面接会に参加した求職者が多くの企業ブースを訪問するような工夫・取り組み、就職面接会に参加した企業と求職者の就職決定率を向上させるための工夫・取り組みを知りたいため。</li> <li>・企業の掘り起こしも含め、求職者と求人企業の双方にニーズに合わせてマッチングしていくことが課題であるため。</li> </ul>
⑥統合管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務過多になっている労働行政において統合管理機能を県としてどのように果たし、関係機関の協力・連携を得ていくかが課題であるため。</li> </ul>